5 AEDを用いた除細動（電気ショック）の実施

▶AED（Automated External Defibrillator／自動体外式除細動器）とは、心臓がけいれん状態（心室細動）となりポンプ機能を失った場合に電気ショックを与え、**けいれんを取り除くための**医療器具です。

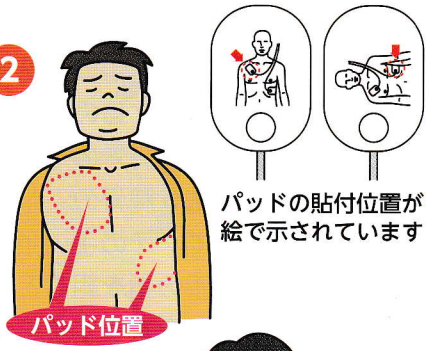
1 AEDの電源を入れ、音声指示に従う。

2 パッドを直接肌に貼付けるため、倒れている人の身体を確認し、パッドの貼り付けに問題がないか確認する。

胸が濡れている場合▶乾いた布やタオルで胸を拭く。

貼り薬がある場合▶はがして肌に残っている薬剤があれば拭き取る。

医療器具が胸に植込まれている場合▶胸に硬いこぶのような出っ張りがある場合、出っ張りを避けて貼る。



3 パッドの貼り付け位置を確認し、貼り付ける。

4 コネクターを接続する。
（接続されている機種もあります）

5 電気ショックが必要かAEDが確認（心電図の解析）を行うため、倒れている人から離れるように周囲に伝える。

▶誰かが傷病者の体に触れていると、心電図の解析が正しく行われない可能性があります。

解析の結果
電気ショックが必要なら 6 へ　電気ショックが必要なければ 7 へ

6 電気ショックが必要と音声の指示があれば、離れるように周囲に伝え、もう一度誰も触れていないことを確認してショックボタンを押す。

▶電気ショックのあとは、ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。「ただちに胸骨圧迫を開始してください。」などの音声メッセージが流れるので、これに従ってください。

7 AEDの音声メッセージが「ショックは不要です」の場合は、ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。

▶AEDは2分おきに自動的に心電図の解析を始めますので、救急隊などに引き継ぐまで心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。